

A, B, C, Dの4つのチームで、野球の試合をします。どのチームもちがったチームと1回ずつ試合をするとき、試合は全部で何通りあるか。

例題1

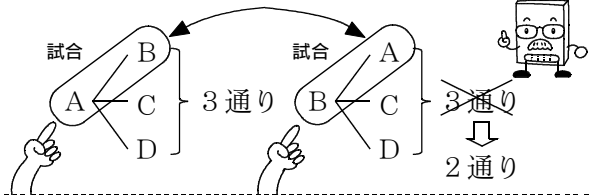
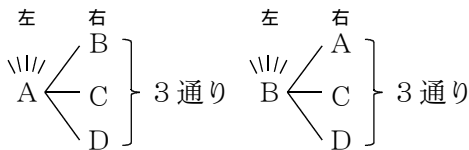
- 試合とは「2つのチームの選び方」のことです
→ 試合とは「2つのチームの組合せ」のことです



《並び方》では正しい樹形図



《選び方・組合せ》では間違った樹形図



2つのチームの《選び方》または《組合せ》を考えると(A-B)も(B-A)も同じ試合のことなので別々に考えてはいけません。この樹形図では正しい試合数は求められません。



《選び方・組合せ》の正しい樹形図



はじめに使ったチームは次の樹形図では使ってはいけませんから！



選び方・組合せを

表を使って求める

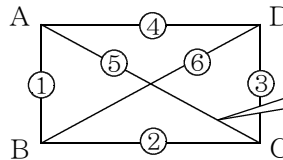
	A	B	C	D
A		①	②	③
B	×		④	⑤
C	×	×		⑥
D	×	×	×	

6通り

このななめ線より上の正方形の数が試合の数

選び方・組合せを

図形を使って求める



アルファベットを結ぶ線の数だけ試合がある！

並び方と選び方
組合せの違いを
しっかり理解し
てください！

チョコレート、バナナ、ストロベリー、グレープ、アップルの5つのアイスクリームから違う種類の2つを選んで買います。《組合せ》は全部で何通りあるか。



樹形図を使って求める

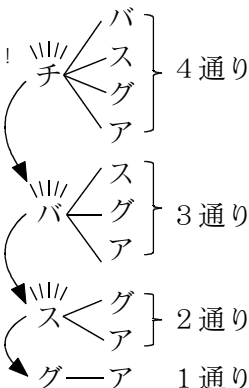
表を使って求める

図形を使って求める

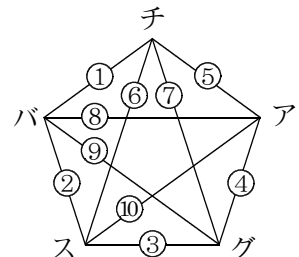
まちがえるんじゃないね～ぞってば！
次にチョコは使ってはいけませんから

次にバナナは使ってはいけませんから

次にストロベリーは使ってはいけませんから



	チ	バ	ス	グ	ア
チ		①	②	③	④
バ			⑤	⑥	⑦
ス				⑧	⑨
グ					⑩
ア					



$$4 + 3 + 2 + 1 = 10$$

(答) 10通り

$$4 + 3 + 2 + 1 = 10$$